

富士急行線大月駅 JR線連絡改札口に自動改札機を導入します

富士急行株式会社(本社:山梨県富士吉田市、社長:堀内光一郎)では、富士急行線大月駅において、スムーズな改札による混雑緩和など一層のサービス向上をはかるため、接続するJR線との連絡改札口に自動改札機を導入します。

この自動改札機は、首都圏で導入されている自動改札機と同様の仕様で、ICカードでのご利用の他お客さまの出発された駅から大月駅まで有効なJR線のきっぷと富士急行線のきっぷを同時に入れることが可能で、富士急行線では初の導入になります。

今後も富士急行では、富士急行線の環境整備を進めることで交通インフラの充実を図り、地域活性化の一助となることで地域の皆様に貢献して参ります。概要は下記の通りです。

【自動改札機導入の概要】

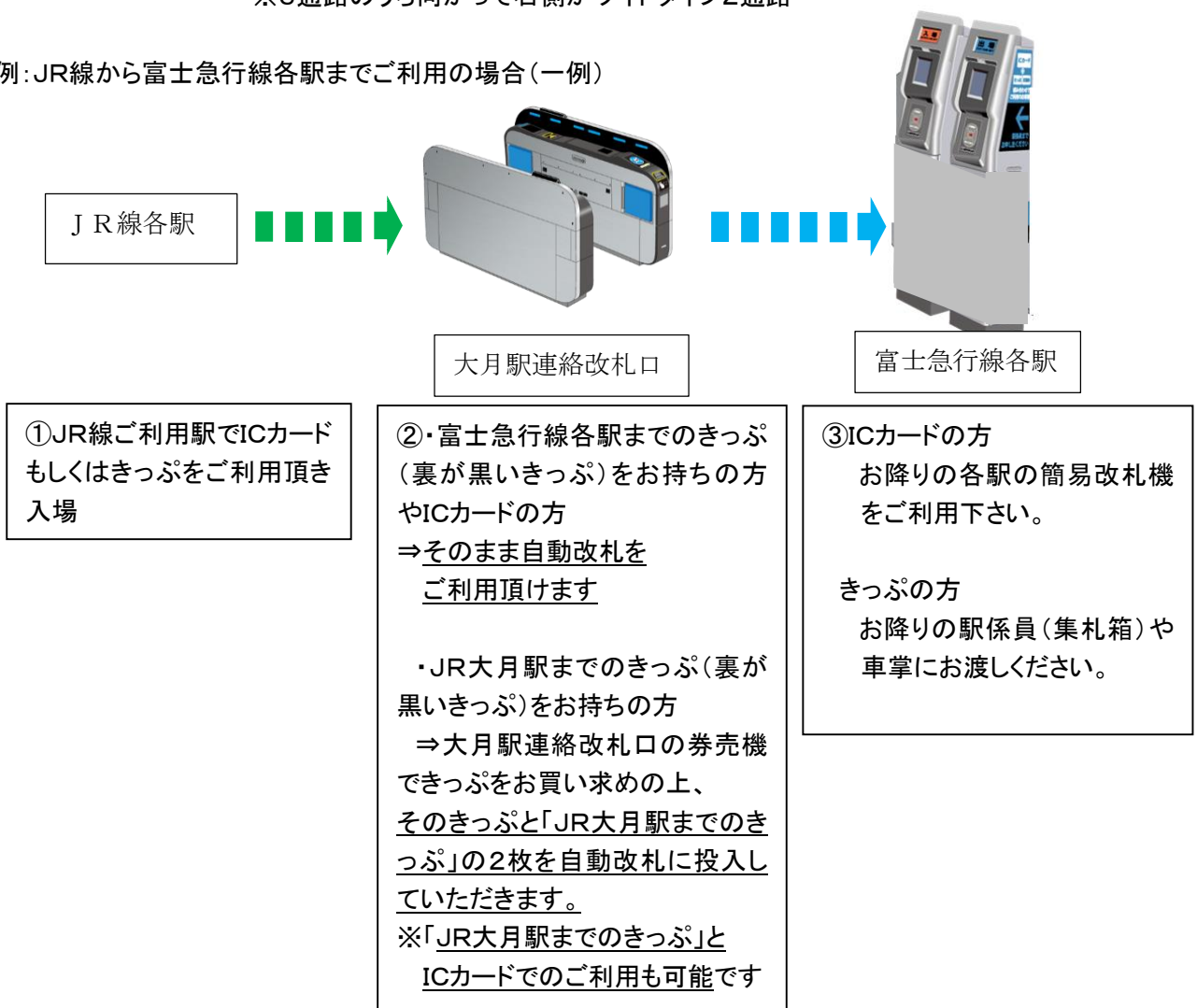
- (1)使用開始日 2020年3月31日(火)
- (2)導入駅 富士急行線大月駅(連絡改札口)
- (3)通路数 3通路
内訳:両方向兼用機(きっぷ及びICカード利用可能) 1通路
両方向兼用機(きっぷ及びICカード利用可能:ワイドタイプ) 2通路
※ワイドタイプは通路幅を900mm(通常は600mm程度)とした自動改札機で車椅子をご利用の方も通れるようになっています。
※裏の白いきっぷをお持ちのお客様等は、駅係員のいる有人改札をご利用頂きます。
- (4)利用可能な乗車券類
定期券サイズの裏が黒いきっぷ、券売機で発売するきっぷ、JR発売の定期券、交通系ICカード等
※当社窓口発売の裏が白いきっぷや定期券はご利用頂けません。
- (5)その他 2020年夏頃にICカード専用両方向改札機1台を追加設置予定です。

【大月駅 自動改札機状況】



両方向兼用機(きっぷ及び IC カード利用可能)
 ※3通路のうち向かって右側がワイドタイプ2通路

例: JR線から富士急行線各駅までご利用の場合(一例)



※上記は一例です。詳しくは駅係員にお尋ねください。